

# 中小企業静岡

2022

12

No.829

特集

第68回 静岡県中小企業団体中央会県大会「中小企業組合の新たな一歩」

Topics

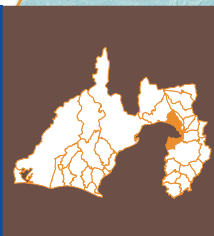
県内の中小企業組合の魅力大集合！しずおか組合まつり開催報告！

Business Report

第51回通常総会および創立50周年記念式典を開催！ほか



しずおか  
35  
市町めぐり  
沼津市



市の鳥：ハマユウ  
市の花：マツ

総面積：186.96km<sup>2</sup>  
人口：189,972人  
世帯数：93,531世帯  
(10/31現在)

- 市制100周年記念ロゴマーク…令和5年7月、市制100周年を迎えるにあたりロゴマークを制作。2つの笑顔は、行政と市民などの協働のイメージを象徴し、周りには市の木であるマツなど沼津を彩るもので表現されている。
- 御用邸記念公園…宮廷建築として全国的にも貴重な西附属邸には、家具や調度品などが保存されており、当時の皇族の暮らしに触れることができる。
- 沼津垣…職人の手で丹念に製作され、機能性のほかに繊細な美しさも兼ね揃えている。御用邸記念公園内や若山牧水記念館などで見ることが可能。
- 干物、みかん…穏やかな気候風土に囲まれた沼津市を代表する特産物。

# 中央会の要望・陳情活動

## 静岡県知事、県議会議長への令和5年度中小企業支援に関する要望について

10月18日、静岡県中央会の山崎亨副会長、中村泰平副会長、一色康有副会長は静岡県庁を訪問し、川勝平太静岡県知事、藪田宏行静岡県議会議長（和田篤夫県議会副議長）に対して、令和5年度における中小企業の支援施策や事業の予算化を求める要望書を提出しました。

中小・小規模企業を取巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染拡大の長期化に加え、国際情勢の緊迫化や原油、原材料の価格上昇、円安の進行等による物価高騰の影響を受け、非常に厳しい状況に置かれております。これを受けて、組合員である中小企業・小規模企業はもとより、中小企業組合においても、急激な環境変化への対応を求められていますが、既存事業の見直しや新規事業の創出は、容易なことではありません。

本会では、こうした状況を踏まえ、「変革期における中小企業組合の事業再構築」を本年度の事業テーマに据え、中小企業組合の機能強化に向けた取組みを支援しております。

他方、中小企業庁においては、経営環境の変化が激しい時代における支援機関の中小企業支援の在り方が議論され、本質的な経営課題の設定から自走化までの伴走支援の必要性が示されました。コロナ禍や原材料・エネルギーコストの高騰、電力問題など中小企業が直面する環境変化に対する支援、デジタル化・SDGs・BCPの推進など今後の中小企業の変革・生産性向上を後押しする組合の取組みへの支援等、3つの大項目からなる12の要望を行いました。

### 【要望書】※一部抜粋

1. 中小企業を取巻く経営環境の変化への対応
  - (1) コロナ禍の影響が大きい業種に対する支援
  - (2) 価格転嫁対策の拡充
  - (3) 電力の安定供給に向けた取組み
  - (4) 本県経済の持続的発展を維持する産業振興及び人口対策
2. 組合を活用した中小企業の変革・生産性向上
  - (1) デジタル化推進の強化
  - (2) 「SDGs」並びに「カーボン・ニュートラル」の普及啓発
  - (3) 人材確保及び育成対策の推進
  - (4) BCPに基づく防災体制の整備並びに災害時の組合活用
3. 中小企業連携組織対策事業費予算の満額確保

なお、本要望書の作成にあたりましては、7月26日に情勢懇談会を開催し、業界を代表する組合代表者等から賜った意見を集約しています。静岡県中央会は、これまで業界の声を真摯に受け止めて参りましたが、より一層“現場の声”を重視し、中小・小規模企業の発展に尽力して参ります。

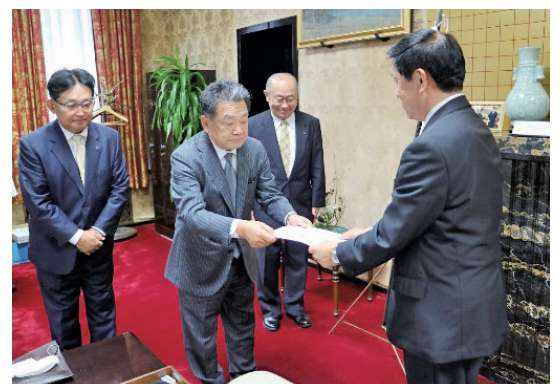
※要望書の詳細は、中央会Webサイトの「新着情報」で公開しています。



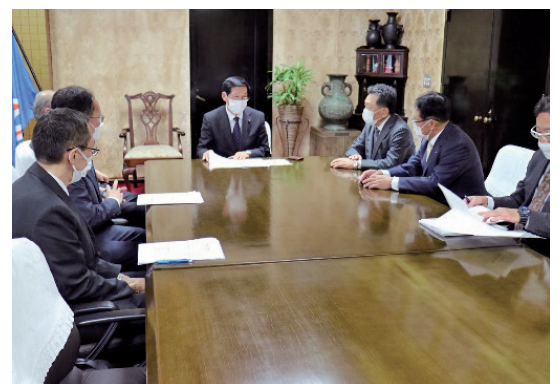
▲川勝県知事に要望書を手渡す山崎副会長（右）



▲川勝県知事（中央）に要望内容を説明



▲和田篤夫県議会副議長に要望書を提出



▲和田篤夫県議会副議長（中央）に要望内容を説明

# 中小企業静岡

2022  
DECEMBER  
No.829

●インターネットでもご覧いただけます

中央会静岡 検索



トップページ中央右の  
「今月の中小企業静岡」をクリック!

[https://www.siz-sba.biz/library\\_index.htm](https://www.siz-sba.biz/library_index.htm)

## INDEX

### 特集…… 2

第68回 静岡県中小企業団体中央会県大会  
「中小企業組合の新たな一歩」  
～“人”との繋がりが未来を拓く～

### Topics …… 8

県内の中小企業組合の魅力大集合！  
しずおか組合まつり開催報告！

### Business Report …… 10



第51回通常総会および  
創立50周年記念式典を開催！  
ほか

### 景況ウォッチ …… 12

10月の情報連絡員月次景況調査より

### Network …… 14

公共職業訓練で若手社員を育成！ ほか

### 読者プラザ …… 16



静岡県青年中央会 会長  
株式会社ベルスター・スズキ  
代表取締役 鈴木 雅八

### Pick Up …… 裏表紙

ポリテクセンター静岡からのお知らせ



表紙絵／のむらうこ

# 特集

## 第68回 静岡県中小企業団体中央会県大会 「中小企業組合の新たな一歩」 ～“人”との繋がりが未来を拓く～



10月26日（水）、静岡県中央会は、第68回静岡県中小企業団体中央会県大会を開催した。今年度はえんてつホール（浜松市中区）を会場とし、組合関係者をはじめ行政・産業支援機関・商工団体など約190名が参加した。今大会は「中小企業組合の新たな一歩～“人”との繋がりが未来を拓く～」をテーマとしており、新型コロナウイルス感染症の長期化、ウクライナ侵攻などの国際情勢の緊迫化、原材料価格の上昇や円安の進行等による物価高騰などによって変化した中小企業・組合の現状や課題を確認するとともに、先を見据えた組合の取り組みとして基調講演や事例紹介が行われた。大会の結びには、それらの先進事例を基にした中央会からの提言が発表され、未来に向けて新たな挑戦を誓う大会宣言が採択された。

### 今こそ新たな一歩を踏み出す時

冒頭、挨拶に立った中央会の山内致雄会長は、「コロナ禍を契機としてデジタル化が進行し、中小企業も事業再構築に着手する必要性が生じるなど大規模な転換期に差し掛かっている」との認識を示し、「本大会では、夢の実現に挑戦する新たな組合の取り組みについて紹介し、激動する時代において組合が担うべき新たな役割を提言していく。組合員が抱える課題の解決に向け、人と人との繋がりが生み出す共助の力を再確認するとともに、厳しさの中で成し得なかった組合員と組合の夢の実現のため、組合に求められる役割について皆様と考える機会としたい」と述べた。

また、来賓を代表して出野勉静岡県副知事は「経営環境が厳しさを増す中、組合員企業同士の連携、そしてその延長線上に生まれる新たな挑戦が中小企業の経営力向上やさらなる成長に繋がることは間違いない。本大会を契機に組合を軸にした中小企業間の多様な取り組みがこれまで以上に幅広く展開されることを期待している」と述べた。



▲静岡県中央会 山内致雄 会長



▲出野勉 静岡県副知事

## 今年度の大会の目的

### 1. 背景（中小企業を取り巻く環境）

新型コロナウイルス感染症の長期化の影響、国際情勢の緊迫化、原材料価格の上昇、円安の進行等による物価高騰、さらには最低賃金の引上げなど、中小企業を取り巻く経営環境は厳しさを増している。

今後も厳しい経営環境が続く可能性がある中で、中小企業は新たな挑戦のために人材や生産設備など先行投資をしながら、環境変化に適応するため変革・進化し続けていくことが求められている。中小企業白書2022年版では「中小企業の自己変革力」をテーマに、中小企業を取り巻く需要構造の変化やデジタル化・グリーン化の進展などを踏まえ、中小企業が新たな挑戦を行うため事業再構築などに取り組み、生き残りを図ろうとすることに多く触れている。

しかし、厳しい経営環境の中で中小企業単独で既存事業の見直しや新規事業の創出など自己変革することは早々容易なことではない。言い換えれば、これまで長い間様々な中小企業の経営課題を共同で克服してきた中小企業組合の果たすべき役割が今後益々重要となってきたといえる。

### 2. 大会の目的

変化の激しい時代だからこそ、中小企業組合に対する可能性への期待は大きい。そこで、本大会では中小企業の経営課題克服や新たな挑戦をサポートする組合の役割を整理・検証するとともに、役割の実現に向けて行動・実行する時の合意形成の在り方など、組合運営の本質的かつ現実的問題に焦点を当て、その解決の糸口を探ることとした。

本大会を通じて、中小企業にとって組合は重要な経営資源であることを改めて認識するとともに、中小企業及び組合と、支援機関そして行政等関係者との繋がりが一層強まることを目的とした。

## 基調講演

### 「これからの時代を乗り越える“連携”戦略」～経営戦略論から見る組合の可能性～

長野県立大学グローバルマネジメント学部 首藤総一郎准教授

基調講演では、長野県立大学の首藤総一郎准教授が登壇し、中小企業における企業間連携や外部機関との連携の重要性、組合の有用性について事例を交えて解説した。

#### 1. 規模の経済

規模の経済とは、生産等の企業活動の規模が増大するほど、固定費の配賦によって1単位あたりのコストが低下するという現象である。組合員全員で使えるものを組合で導入したり、一部の業務を組合に集約したりすることで、それぞれの企業が独自に取り組む場合よりコストを引き下げることが可能となる。具体的には、組合員全員が使える生産設備購入や情報システム構築、事務仕事の組合への集約化、組合での研修による組合員従業員教育、組合での情報収集・分析と組合員への共有などが挙げられる。



▲長野県立大学  
首藤総一郎 准教授

#### 2. 他のプレイヤーにとっての魅力向上

組合員の協調によって、ビジネスに関連する他のプレイヤーを惹きつけることができる。他のプレイヤーとは、顧客、取引先、補完財生産者、行政、支援機関、メディアなどである。惹きつけることができる理由は、組合員の協調によって、他のプレイヤーに対する魅力が増大するからである。例えば、様々な組合員が提供する多種多様の製品・サービスの一括提示によって顧客の選択の幅が増える。一度の情報伝達・共有で

済むために行政・支援機関にとっての利便性が増す、取り組みの規模が大きくなるためにメディアにとってのニュースバリューが増す、といった話である。

### 3. 協調行動による交渉力増大

また、魅力向上は単に他プレイヤーを惹きつけるだけではなく、他プレイヤーに対する交渉力も強める。共同購買によって原材料等の単位あたりの価格が低下するのがその典型といえる。

組合員の協調行動によって、顧客や取引先など他プレイヤーにとっての組合員企業の代替性を低くし、その結果として交渉力を増大させることもできる。例えば、組合員が見積もりを顧客に提示する際、コストを価格決定に織り込む共通フォーマットを使用することにする。その場合、顧客にとっての現実的な意味での取引先が組合員企業しかなければ、顧客はコストを織り込んだ価格で納得せざるをえなくなる。

### 4. 業界構造の改善

組合が主導して、組合員企業に利する形に業界構造を改善できる可能性もある。典型的には、顧客に代表される他のプレイヤーが担っている仕事を組合自らが手がけるという話である。具体的には製造業組合が販売を行う、卸組合が組合として小売も行うといったことである。他のプレイヤーの数が増えれば、代替性が高まるため、他プレイヤーの交渉力は弱くなる。また、組合自らにその業務実施の能力が存在することの明示も、他プレイヤーの交渉力弱体化につながる。

他プレイヤーの数の話でいえば、組合自らが行わずとも、3. で述べたような魅力向上を活かして、新規のプレイヤーを引き込むという方法もある。

### 5. 可能性を可能性で終わらせないために

これまで述べてきたように、組合には大きな可能性があると考えられる。しかし、その可能性を発揮するには組合が組織としてまとまり、活性化する必要がある。複数の企業がまとまって動く際には、インセンティブに起因する問題が生じやすい。例えば、価値の分配をどうするかという問題がある。また、コストを負担せず恩恵だけ受けるとフリーライドの問題も存在する。

そのような問題をどのように解決していくのか。そこに組合の可能性を可能性で終わらせないための重要な鍵があると考えられる。



▲講演風景

## 組合事例紹介

基調講演に続き、組合機能を活かし仲間と協同で将来に向け様々なことに挑戦している3つの組合の事例について、事例紹介を行った。

### 「りくみビジョン2030」を策定し、組合の将来像を共有 ～新時代に対応するため自己改革力を高める～

同組合は、平成4年、横浜市のリサイクル事業者75社で設立。

平成12年には、大量生産・大量消費型から循環型社会の形成に向けた転換期を迎え、廃棄物の減量化は組合員企業にとって、今後の経営のあり方を見直す機会となった。そこで、平成21年、“組合活動の軸を持たなければ組合員が生き残れない”と考え、2020年に向けて組合の将来像となる「りくみビジョン2020」を青年部が主体となり策定。社会における業界の地位向上や組合

### 横浜市資源リサイクル事業協同組合 私たちの目指す「リサイクルデザインタウン」です。



▲全国中央会 活路事業を利用しビジョン作成

が果たす社会貢献など、リサイクル業の存在価値を高めるために今後、どう行動すべきかを示した。出来上がったビジョンは、組合執行部にも理解を得ることで組合全体として取り組むべきものとして了解を得た。

ビジョンの具体的成果として、洗って使える環境に優しい「リユースびん」の定着化、小学生の夏休みの課題として「環境絵日記」の普及などに取り組んだ。なお、環境絵日記の推進は20年以上実績を重ね、小学生とその家族に対して環境への関心を高めるのに役立っている。

こうした活動を続けるにつれ、2020年が到来。当時の青年部長は理事長に就任し、同じく青年部の仲間も組合役員を担う立場となった。そこで、その先の10年を見据え「りくみビジョン2030」を策定。組合事業を通じて資源ロスがない社会をつくり、年齢や性別の枠を超え、いつからでもいつまでも働ける業界づくりを目指す。



▲環境絵日記

### 精密加工技術を結集し航空機産業に参入 ～産学官金の支援を追い風に大空へ翔く～

浜松を中心としたものづくり企業14社で構成される同組合は、平成17年、前身である『宇宙航空技術利活用研究会』で活動をスタートした。その後、同研究会で航空機産業参入に強い意欲をもつ9社が集まり、研究会からさらに一歩踏み込んだ浜松航空機産業プロジェクト「SOLAE（そらへ）」を平成22年10月に発足。大手航空機部品メーカーへの視察訪問などを通じて“航空機部品の一貫生産”にニーズを見出し、平成29年1月に同プロジェクトを母体とした協同組合を設立した。

切削や溶接、表面処理など、それぞれの得意技術により航空機部品の加工から組み立てまでを一貫して対応する「共同受注による一貫生産体制の構築」に向けた活動展開を行っている。

同組合では、静岡県「共同受注体支援事業」や中小企業団体中央会の助成事業を活用し、専門家を交えた技術研究会や情報収集・販路開拓のための展示会出展など、行政・支援機関などと連携した事業展開をしている。展示会については、各方面から一定の引き合いもあるなど着実に成果をあげてきた。

現在、発足の目的である航空機部品の一貫生産による受注は達成できていない。その理由は、受注したプロジェクトを管理する中核企業がないことである。こうした業務には製造工程や品質の管理、発注元との折衝など多岐にわたる知識やスキルが必要である。組合事務局として、これら要件を満たす人材の採用が目下の課題である。

### 協同組合SOLAE



▲ SOLAE プロジェクトメンバ



▲航空機部品

### 食品製造のプロによる「連携×連携」で新たな事業展開 ～関わる人すべてが幸せになるように～

#### 遠州食品工業協同組合

同組合は平成25年、遠州地域の食品製造事業者が地域の食文化を守るとともに、新たな商品開発や販路開拓に連携して取り組む目的で設立した。

元々、地域の風土に由来した味付けや食べ方など食文化が失われつつある状況に危機感を抱き、地域食材である「浜名湖のり」のブランド化を促進するため任意組織を発足したのが始まり。



▲浜松市長表敬訪問  
(地域団体商標登録報告)

直売会の定期的な開催や地域イベントへの積極的に出店し組合員の販路開拓支援を行ってきた。また、地元のデザイン専門学校と連携し、組合シンボルマークのデザインを策定したり、地元漁協との共同申請により「浜名湖のり」の地域団体商標も取得するなど、常に地域社会と一体となった取り組みを実施している。このように組合内連携、組合と外部との連携を掛け合わせて、地域食品製造業者の可能性を広めている。

同組合では毎月定例会を開催し、事業やイベントの実現に向け、熱い議論を交わしている。なお、この定例会には外部ゲストを頻繁に招くなど、組合員に有益と思われる情報は常に共有する機会を設けている。また、SNSを活用して役員会を招集・開催するなど、迅速な意思決定が同組合の活動を支えている。柔軟かつ大胆な連携×連携で新たな取り組みにチャレンジ。「関わる全ての人が幸せになることを目指す」が組合信念である。



▲ロゴマーク発表会  
(専門学校とのコラボ)

## 座談会

### 「組合の特徴的な活動が及ぼした影響」「組合の魅力、可能性」について

座談会では、首藤准教授をコーディネーターに、事例発表を行った横浜市資源リサイクル事業協同組合 栗原清剛代表理事、協同組合 SOLAE 白井秀和代表理事、遠州食品加工業協同組合 松田和敏副理事長がパネラーとして登壇。さらに静岡県中央会 三宅大介経営支援部部長代理がコメンテーターとして参加し、各組合の特徴的な活動からそれらが及ぼした影響、現在の課題や解決に向けた取り組み等について意見を練り広げた。

まず、「環境絵日記」が20年以上小学生の夏休みの課題として扱われている横浜市資源リサイクル事業協同組合にその取り組みが及ぼした影響を尋ねると、栗原代表理事は「市民・行政における環境への意識が高まる中、組合が環境保全に真摯に取り組むことで組合員も高い評価をいただいている。市内の他業種企業からも賛同を得て、共同で事業を行うなど相乗効果が生まれた」と回答した。

異業種連携で航空宇宙分野への進出に取り組む協同組合 SOLAE 白井代表理事には「組合制度だからこそ得られた恩恵」を質問。法人化の際に他の法人格と悩んだが、「協同組合」を選んだことで中小企業がお互いの力を結集して、共同で事業に取り組む意欲が高まり、組合員が目指す『航空機部品の一貫生産による受注』という夢の実現に向けた原動力になっている」と強調した。

また、組合員同士の連携のほか、組合外部の機関と積極的な連携を図る遠州食品加工業協同組合 松田副理事長にその秘訣を伺うと、「とにかく情報発信が重要。新しいチャレンジを発信することで組合内では足りない知識も外部の専門家との繋がりができて、新たな学びが得られる」と密度の濃い連携ノウハウを披露した。

今後の抱負を質問すると、栗原代表理事より「当組合では2030年に向かいビジョンを作成し、それに向かった活動をしている。特に小規模事業者が多く、事業承継が難しい当業界で如何に組合の中心になる人物を育てるかが喫緊の課題」と述べた。白井代表理事からは「異業種による研究開発で最も難しいのはマネジメントする人材の確保」として、人の重要性を指摘した。



▲コーディネーターを務めた首藤准教授（右）  
コメンテーターを務めた三宅部長代理（左）



▲パネラーとして登壇した栗原代表理事（左）、  
白井代表理事（中）、松田副理事長（右）



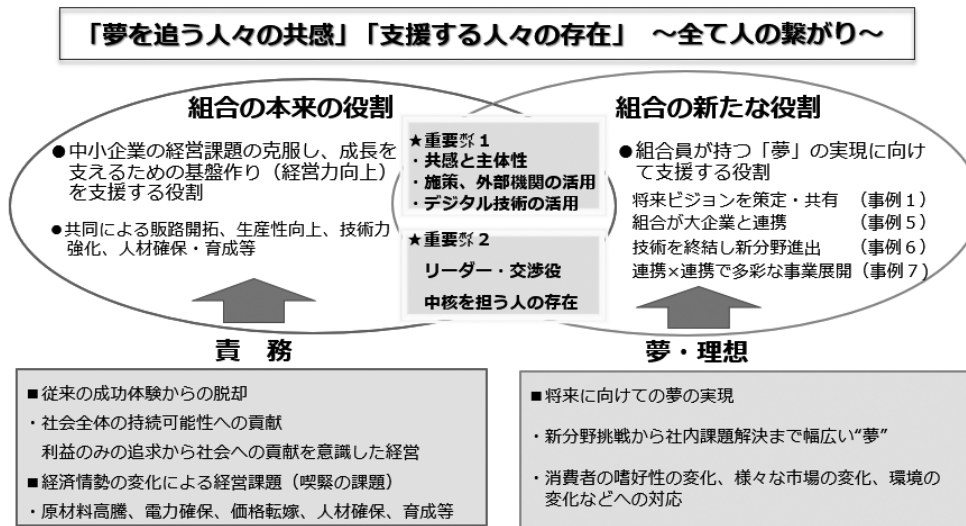
## 提言

### 「夢を追う人々の共感」「支援する人々の存在」～全ては人の繋がりが重要～

静岡県中央会の田中秀幸専務理事より、これからの時代に求められる組合の役割や、取り組みの実現に向けたポイントなどが提言として発表された。

「経済情勢の大きな変化の中で組合に求められる第一の役割は組合員が直面する課題を解決し、企業の体力を維持し、向上させるという組合のいわゆる基本的な責務を果たすことである。今日のように変化の激しい状況下で責務を果たすためには、共同事業の再編あるいは再構築に取り組む必要がある。そのような点から中央会では『変革期における中小企業組合の事業再構築』をテーマに共同事業の再構築に様々な角度から取り組んでいる。二点目に、新たに組合に求められる役割は、組合員の夢、理想の実現に向けた取り組みである。組合が中心になり、組合員が持つ「夢」の実現に向け、支援する役割である。これこそ混沌とした時代における今の組合の重要活動、新しい役割ではないかと考える」と述べた。

夢の実現に向けてのキーワード



## 大会宣言

今大会の締めくくりとして静岡県中央会の田中秀幸専務理事より大会宣言が行われた。社会や経済構造が大きく変化する中、組合に結集した協同の力、共感に満ちた人のつながりを信じ、我々が求める将来、「夢の実現」に向けて力強く踏み出すことを宣言した。

### 大会宣言

我々中小企業・小規模事業者は、いつの時代も経営環境の変化にあって、組合とともに課題に挑み進化を続けてきた。

そして、いま、社会や経済の構造が大きく変化する中、組合に結集した協同の力、共感に満ちた人のつながりを信じ、我々が求める将来、「夢の実現」に向けて力強くその第一歩を踏み出すことをここに宣言する。

令和四年十月二十六日  
静岡県中小企業団体中央会



▲静岡県中央会 田中秀幸 専務理事

## 県内の中小企業組合の魅力大集合！ しずおか組合まつり開催報告

静岡県中央会では、10月26日（水）に『第68回静岡県中小企業団体中央会県大会』開催にあわせ、浜松市ギャラリーモール ソラモ（浜松市中区）にて「しずおか組合まつり」を開催した。本イベントは、県内中小企業組合の知名度向上、新たなビジネスチャンスの創出、地域の魅力発信等を目的に開催したもの。

開催時間は11：00～16：00で、県内から17組合が出展し、法多山名物・厄除団子の数量限定販売や、富士宮焼きそばの屋台販売など、県内各地の組合の美味しいものやお買い得商品が一堂に会した他、大河ドラマ「どうする家康」を記念したオリジナル弁当の特別展示、竹とんぼ・竹灯り製作体験のワークショップなども開催した。

平日の開催であったが、イベントの始まりとともに会場には多くの来場者が訪れ、普段の生活ではなかなか見ることのできない、各業界自慢の産品や匠の技、優れた商品を紹介するブースに足を止め、組合担当者の説明に耳を傾けるなど、県内各地の地域産品の展示・販売・試食など存分に体験した。



▲展示されたオリジナル弁当

特別企画として、遠州食品加工業協同組合によるオリジナル弁当の特別展示が行われた。

令和5年1月から放送予定の大河ドラマ「どうする家康」を記念して、同組合がオリジナル弁当を企画。浜松調理菓子専門学校とタッグを組み、家康公にあやかったオリジナルのお弁当のパネル展示を行った。

「できる」ことより、  
「やりたい」ことが、  
世の中を変える。



100年以上、焼酎に向き合いつづけてきた蔵元が、ウイスキーの新しい境地を切り拓く。鹿児島県の小正醸造はいま、自分たちの伝統と可能性を見つめ直し、世界へ挑もうとしています。私たち商工中金は、中小企業1社1社のそのつよい情熱に寄り添います。1つ1つの事業に、時間をかけて深く向き合い、確かな成果へ。「やりたい」から始まるすべてのビジネスは、きつとつよい。

**中小企業のその挑戦を、支えつづける。**

◎ 商工中金のソリューション・メニュー | 海外展開支援 | 新事業進出支援 | 成長分野進出支援 | 生産性向上支援 |

静岡支店 〒420-0853 静岡市葵区追手町6-3 TEL:054-254-4131  
浜松支店 〒430-0917 浜松市中区常盤町133-1 TEL:053-454-1521  
沼津支店 〒410-0046 沼津市米山町6-5 TEL:055-920-5000

人を思う。未来を思う。  
**商工中金**

## 第51回通常総会および 創立50周年記念式典を開催！

静岡県東部商工協同組合

静岡県東部商工協同組合（山崎亨理事長）の第51回通常総会ならびに創立50周年記念式典が、10月20日（木）、沼津リバーサイドホテルにて開催された。総会では、令和3年度事業報告・収支予算のほか、各議案の審議が行われ、いずれも原案通り承認。また、総会後の理事会では山崎亨氏が理事長に再任した。式典には来賓、組合関係者ら33名が参加し、創立50周年の節目を祝った。

記念式典では、株式会社商工組合中央金庫、静岡県中小企業団体中央会より当組合に感謝状が贈呈されたほか、長年にわたり組合の発展に尽力した第3代理事長の川口正信氏（富士木材株式会社）には、当組合から感謝状と記念品が贈呈された。

また、特別企画として笑福亭羽光師匠による古典落語の演目の一つである「はてなの茶碗」が披露され、記念式典に華を添えた。記念式典後には懇親会が開催され、出席者らが親睦を深め、盛会裏に終了した。

当組合は昭和47年に設立。金融斡旋事業や高速道路等通行料金の別納事業などを通じて組合員の経営安定化や生産性向上に大きな成果を上げてきた。

山崎理事長は、「終息の見えない新型コロナウイルス感染症や国際情勢の緊迫化、止まらない円安進行、原油・原材料価格の高騰など先行き不透明な情勢ではあるが、今後も商工組合中央金庫・静岡県中央会と連携し、地元中小企業者の支援に全力を尽くしていきたい」と力強く決意を述べた。



▲総会時の様子



▲中央会・山内会長から山崎理事長へ感謝状の授与



▲笑福亭羽光師匠による落語の披露

## 全国初！『本気なアウトドア』で 学びと繋がりを大切に活動する企業組合

ふじのくにアウトドア企業組合

キャンプやBBQなどのアウトドア専門のコンサルタント事業を専門に行うふじのくにアウトドア企業組合（黒田憲一理事長）が設立された。

近年、コロナ禍を背景に3密が避けられるアウトドアに注目が集まっており、新たにキャンプ施設を開業・創業する事業者やキャンプ用品の製造に取り組むメーカーが増加傾向にある。しかしながら、アウトドアを専門にしたコンサルタント事業者が存在せず、経営課題について相談できずに苦慮するケースが少なくない。このようなニーズを受け、アウトドア業界に身を置く有志が集まり、アウトドアに関するコンサルタント業務を行う企業組合を設立。補助金を活用した資金調達から、マーケティング戦略の策定、施設の建設工事、イベントの企画運営、組織構築含めた人材育成、出張本格BBQの提供や事業のサポート等を一括してサービス提供する。

SNS映えする施設や風景、お洒落なアウトドア飯に高級感漂うグランピング。アウトドアブームによって多種多様なアウトドアの形がどんどん世の中に現れているが「いい場所、いいサービス、いいものを提供すれば事業が上手くいくわけではない。真に大切なものはそれらを通じたコミュニケーションにある」。近年ソロキャンパーが増加している本当の理由を考えれば、事業として何を提供すればいいのかが見えてくる。

静岡県では、南海トラフ地震の懸念から、積極的な防災活動が長年続けられている事もあり、防災に関する関心が非常に高い。アウトドアは防災と相性がよく、災害時に使えるスキルを学べる防災型BBQ・キャンプを組合で提供している。同組合では「アウトドアだからこそ、コミュニケーションが重要である」という考えを大切に、自治体や事業者と協力して地域活性化・観光業界の発展に貢献していく。



▲黒田憲一理事長



▲組合オリジナルTシャツ

## MUD(メディア・ユニバーサルデザイン) デザインコンテストを開催

静岡県印刷工業組合

静岡県印刷工業組合（松下誠二理事長）は、11月9日、静岡市産学交流センターにて第16回静岡県MUDデザインコンテスト表彰式を開催した。

同コンテストは、高齢者や障がい者、子ども、外国人等、人の特性によらず、より多くの人にとって見やすく、わかりやすいデザインを提供しようという「メディア・ユニバーサルデザイン（MUD）活動」に基づき行われるもの。そうした趣旨に沿った印刷媒体（カレンダーやパッケージ、ポスター、ラベル、カードゲームなどの印刷物）を募集し、そのデザイン性を競う。

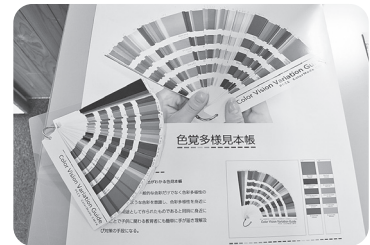
応募作品数全94点の中から、学生部門より最優秀賞1点、優秀賞2点、特別賞5点に加えて、一般部門より優秀賞2点の計10作品が受賞。

最優秀賞に選ばれたのは、専門学校浜松デザインカレッジの山崎朱梨さん。作品名は「色覚多様見本帳」で、コンセプトは『誰でも一目で色覚多様の色がわかる色見本帳』。“色覚多様性（色弱）”の人は、色の三原色（赤・青・黄）の内、特定の系統の色覚が弱く、他の人と色の見え方が異なる。そうした方々に配慮されたこの作品は、色見本の一つのタグに色覚特性のタイプに応じた5つの色を掲載したもので、それぞれの色の見え方が一目瞭然となる。デザインの場合や教育現場で活用されることが期待される。

表彰後の講評では、「このような商品がなぜなかったのだろうか。完成度が高い作品であり、満場一致で最優秀賞に決定した」と評された。

これらの作品は、全国団体の主催する第16回MUDコンペティションに応募される。受賞者は更なる改良に向け自身の作品の講評を受け止めた。

前回の全国大会（第15回MUDコンペティション）は学生部門で最高賞である経済産業大臣賞を静岡県が獲得した。本年も活躍が期待される。



▲最優秀賞を受賞した「色覚多様見本帳」



▲山崎朱梨さん受賞の様子



▲受賞者の方々

## 未来アカデミー2022「後継者養成講座」開講

静岡県中小企業団体中央会

静岡県中央会は、中小企業の事業後継者・若手経営者、幹部社員等の育成を目的とした「未来アカデミー2022 後継者養成講座」を今年度も開講し、充実した講義を実施している。

本講座は、中央会が創立60周年を機に掲げた未来宣言の重点項目「地域産業を担う人づくり」を実現するために、平成28年度からスタートした事業であり、これまでに113名の受講生を迎えてきた。今年は7期生となる16名の参加者が集い、2月17日までに全10回の講座を受講する。

初日、開講にあたって中央会 山内致雄会長より「経営者としての心構え」について講話が行われた。山内会長は、自身の経験談から「その時、その時の仕事に真摯に、誠実に取り組むこと。そして、将来を見据えた仕事をすることが重要だ」と経営者の資質などについて語った。

その後、税理士法人 SS総合会計 代表社員税理士 鈴木宏典氏を講師として、「経営論・経営者論」をテーマとして、中小企業の本質、今求められる後継者のスキルなどについて講義が行われた。

今年度は、本会が目的の一つとして掲げる「人脈形成」を促すため、感染拡大防止策を徹底した上で、3年ぶりに宿泊研修を11月10日～11日にかけて御殿場市の時之栖（ときのすみか）で開催。本研修では、企業経営を疑似体験しながら経営戦略・財務を学ぶ「経営シミュレーション（チーム対抗によるゼロサムゲーム）」や過去の受講生との交流会を実施した。

今後は、「組織マネジメント」や「決算書のポイント・経営分析」などの経営の基礎的知識から、応用編として「事業計画の策定方法」「プレゼンテーション技法」などを学ぶとともに、受講生それぞれが、「大変革時代の経営戦略」を模索していく。最終日、受講生は自社をモデルに策定した事業計画を発表することとなる。



▲講義時の様子



▲宿泊研修時の集合写真

# 景況ウォッチ

組合活性化情報

内閣府が11月9日に公表した2022年10月期の「景気ウォッチャー調査(全国版景気動向調査)」によると、10月の景況を示す現状判断DI(季節調整値)は、前月差1.5ポイント上昇の49.9(基準値50.0)となった。また、2,3ヵ月先の景況を予測する先行き判断DI(季節調整値)は前月差2.8ポイント低下の46.4となった。

今回の調査結果に示された景気ウォッチャーの見方は、「景気は、持ち直しの動きがみられる。先行きについては、持ち直しへの期待がある一方、価格上昇の影響等に対する懸念がみられる。」とまとめている。

## 概況

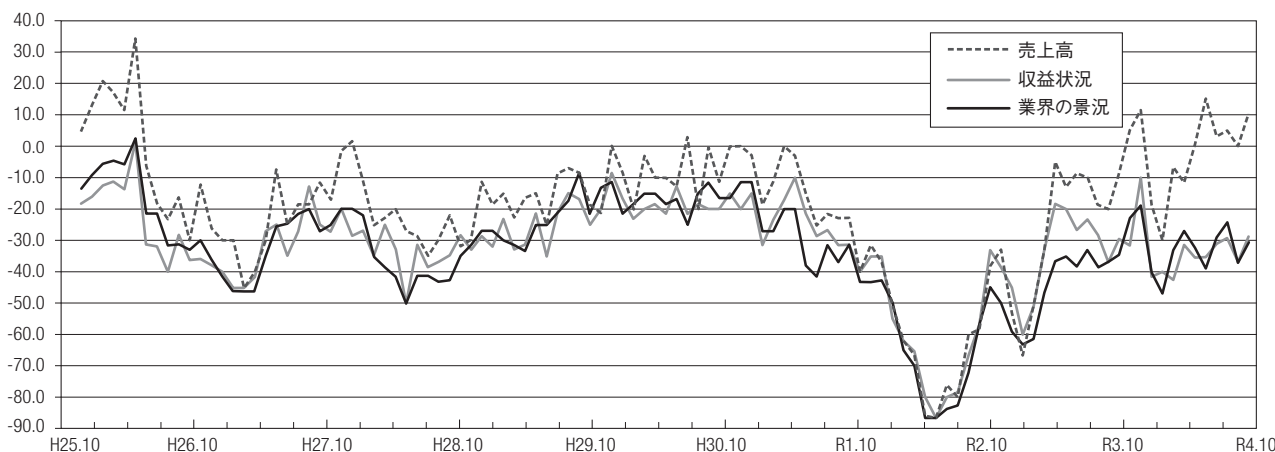
- 2022年10月のDI値は、前月との比較において、主要3指標である「売上高」「収益状況」「業界の景況」を含む6指標が改善。「在庫数量」が横ばい、「資金繰り」「設備操業度」が悪化した。全体的に改善傾向となったが、製造業、非製造業で温度差がみられ、製造業において原材料価格の高騰による収益低下等を背景に厳しい状況があらわれている。
- 「製造業」では、前月との比較において、「収益状況」「業界の景況」を含む5指標が改善。「売上高」「在庫数量」「設備操業度」が悪化、「取引条件」は横ばいとなった。幅広い製造分野で原材料やエネルギーコストの高騰、価格転嫁に苦慮する状況が続いており、「収益状況」はマイナス46.7ポイントと非製造業のマイナス10.4ポイントを大きく下回っている。「売上高」「業界の景況」においても非製造業を20ポイント以上下回る結果となった。輸送用機械器具製造業からは「原材料など製造原価が加速度的に高騰している中で、取引先への価格交渉が容易にできない」とのコメントが寄せられた。
- 「非製造業」では、前月との比較において、「売上高」が27.6ポイントと前月34ポイントを大きく上回るなど6指標が改善。「販売価格」が横ばい、「資金繰り」が悪化した。ヒトやモノの動きが活発化してきたことで売上が戻りつつある状況が伺える。今後の人手不足を心配する声もあがっている。道路旅客運送業からは「僅かではあるが人の動きが開始して旅客需要も増えてきているようである。一方でコロナ第8波を懸念する声も出ている」とコメントが寄せられた。

## DI値の推移 ※DI値 = [(増加・好転組合数 - 減少・悪化組合数) / 対象組合数] × 100

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人数	業界の景況
2022.10	10.2	-6.8	35.6	-13.5	-28.9	-27.1	-10.0	-5.1	-30.5
DI値	☀	☀	☀	🚩	☔	☔	☁	☁	☔
2022.9	0.0	-6.8	27.1	-16.9	-37.2	-23.7	-6.7	-10.1	-37.3
2022.9→2022.10	10.2↑	0.0→	8.5↑	3.4↑	8.3↑	-3.4↓	-3.3↓	5.0↑	6.8↑

+0.1以上…☀ ±0.0~-10.0…☁ -10.1~-20.0…🚩 -20.1~-…☔ なお、「在庫数量」のみマイナス値が大きいほど好転を示している。  
※基準値±0.0=前年同月比横ばい。

## 主要三指標DI値推移(過去10年間)



(2022年10月の情報連絡員月次景況調査より)  
 静岡県中央会に設置されている情報連絡員〔協同組合等の役員職員60名に委嘱〕による毎月の景況調査の概要です。  
 集計結果の詳細は、本会ホームページ (<https://www.siz-sba.or.jp>) でご覧になれます。

## 業界の声

### ■製造業

水産食料品	・電気料金に係る賦課金、燃油調整費の高騰が大きな負担になっている。 ・電力費・ガス料金の値上げ分が販売価格に転嫁しきれず苦しい状況が続いている。取引先と交渉の末、値上げに漕ぎ着けてもインフラコストの値上がりペースに追いつかない。原料に関しても不漁が続き、組合員側では生産数量減が避けられず、組合共同施設の利用が落ちれば利用料収入の減少となり、出口の見えないトンネルを走っている様に感じる。
パン	・小麦粉価格は据え置かれたものの、他の原材料費は高騰している。販売価格の値上げは大手製パン会社の動向を見て、大手が値上げした1～3か月後が中小パン製造会社の値上げのタイミングとなる。
織物業	・3年ぶりに受注が入りだした。受注ロットはまだまだ少ないものの綿素材全般に受注が入った。 この状況が続くかは不透明。円安に伴い原材料高、加工高で製品単価がアップし、継続的に売上が伸びるか未未知数な状況である。
宗教用具	・前年比プラス23%増(売上高)となったが、内10%が値上げによる為で実質は13%増位だと推察する。海外生産での輸入は、円安と運送費等の高騰により原価が高くなっている。
製材業、木製品	・様々な要因による建築市況の悪化が懸念される局面ではあるが、製材業の稼働率はそこそこ維持している。
印刷	・用紙、副資材が大幅に値上がっている。 ・資金繰りが厳しくなっている。
骨材・石工品等	・電気代が高すぎる。コストアップにより売り上げが増えても収益が変わらない。
金属製品	・円安によるエネルギー、原材料高により、収益状況が著しく悪化している。 ・エネルギーの高騰、原材料の高騰
生産用機械器具	・材料費の値上げに対して、客先への価格交渉とタイムラグが発生しているため、短期的には収益悪化が見られる。 ・高齢化が進み人手不足が進んでいる。 ・EV関連、省エネ設備の受注は相応にあるものの、歴史的な円安がどこまで進むのか、設備投資は様子見の兆候がある。
電気機械器具	・大型冷蔵庫は、販売好調により高水準の生産が継続している。 ・家庭用エアコンは、輸入部品の調達状況の改善が進み、部材調達難の昨年と比べ大幅な増加となった。 ・業務用エアコンは、欧米向けの需要拡大により輸出が増加している。
輸送用機械器具	・原材料など製造原価が加速度的に高騰している中で、取引先への価格交渉が容易にできない。それどころか、現行価格での提案を求められ、付帯的仕事量が大きな負担となっている。 ・まだ安定した生産状況には至っていないが、徐々に回復してきている。ただ、受注部品により企業間で繁閑のバラツキは出ている。 ・10月期カーメーカーの生産調整実施(半導体不足)により2割程度の生産減少となっている。T社の生産計画に於いても減産分の挽回は行わないとの情報があり、生産計画は下降修正となっている。

### ■非製造業

セメント卸売業	・10月の出荷は、山間地の道路災害復旧工事等の公共関連工事発注が寄与し、2か月振りに前年同月上回った。
鮮魚小売業	・小売・卸売業ともに週末を中心にコロナ前の水準に戻つつあるが、原材料等の上昇により収益力については懸念される。販売価格のさらなる値上げを考慮しなければならない状況。
各種商品小売業	・3年も続いたコロナ禍は一向に出口戦略が見えなく、消費者のマインドも戻らない。今後は商店街は淘汰されていくと考えている。 ・10月20日から11月20日まで「お街ゼミナ～る」を3年ぶりに開催し好調なスタートをきった。また、キャッシュレス決済のポイント還元キャンペーンなどもあり、少しずつ売り上げが戻っている。イベントでは、10月29日と30日に3年ぶりの「おまちdeハロウィン」を開催。2日間で子供と保護者5,000人以上が参加店舗を回遊した。 ・10月より市内のプレミアム付きクーポン券が使用開始になり、少し消費が活発になってきているように感じる。また、観光客も少しずつ増えている感がある。
宿泊業	・全国旅行支援事業の実施により、観光客・宿泊客の増加がみられた。多くの宿泊施設が人手不足の状態となっている。
総合工事業	・資材の値上げが毎月のように続いている状況。来年1月発行の新カタログでは10～20%価格が上昇するとの連絡が数社から届いている。 ・元請けからの見積案件が減っている。何件かの取引先に様子を聞くとやはり減っているとのことだった。現状は忙しく稼働している同業者が多いが、この先中堅以下の工場は仕事が減少傾向にあると思う。
職別工事業	・現場規模が大型化していることに加え、週休2日体制への移行の影響、他地方での多忙な状況などの要素が重なり、人手不足感が顕著になっている。受注価格は上昇しているものの、労務費の高騰もあり、状況としては必ずしもいいとは言えない。今後、まだまだこの状態は続きそうだが、抜本的な解決策はなさそう。専門工事業の労務状況はひっ迫しているにもかかわらず、ゼネコン各社はまだまだ受注意欲が高く、受発注に温度差が出ている。
道路貨物運送業	・荷物情報は昨年と比較し増加傾向である。しかし、月初や連休明けは荷動きが減少するなど、繁閑の差が激しい。運賃に関しても若干ではあるが上昇傾向となってきている。今後、景気が回復してきた場合のドライバー不足が懸念される。 ・トラック維持に係る経費が上昇している、運賃値上げよりも経費の上昇が高く追いついていない。 ・12月の繁忙期に向けて、早くから荷主は車両確保に向け準備している様子。仕事量は安定しているようであるが、長引く燃料高により収益は順調ではなく感じる。
道路旅客運送業	・人の動きを抑制する施策が緩和され、旅行支援策も再スタートするなど、僅かではあるが人の動きが開始して旅客需要も増えてきているようである。一方で「コロナ第8波」を懸念する声も出ている。まだまだ予断を許さない状況であり、引き続きガイドラインに沿った感染防止対策を取りつつ対応していく必要がある。

## 公共職業訓練で若手社員を育成！ ～浜松技術専門校 訓練生募集～

若手社員は技術を学びたがっています。現場ではなかなかできない基本技能・技術の習得を、公共職業訓練（若年者訓練コース）で行うことができます。関連分野の資格取得も可能です。また、人材開発支援助成金を利用できる場合があります。

### ■令和5年度募集訓練科

科名 (定員)	内容
機械技術科 (20人)	機械加工の基礎知識、汎用工作機械・NC工作機械の操作・プログラミング
建築科 (10人)	建築大工の基礎知識、木工機械の操作、建方作業、室内造作
設備技術科 (10人)	給排水衛生設備、空調設備の設計・施工等、CAD操作

■訓練期間：1年間（令和5年4月～）

### ■授業料等

入校検定料	入校料	授業料
2,200円	5,650円	118,800円

※所得に応じた授業料等の減免制度があります。

※上記授業料等の他に別途諸経費がかかります。

### ■試験日程等

回次	出願受付期間	選考日
第3期	12月5日(月)～ 1月30日(月)	2月6日(月)

■試験科目：学科（数学）、面接

■会場：浜松技術専門校（浜松テクノカレッジ）

※体験入校も可能です。

※選考には事業主推薦制度があります。

※詳細は本校HPをご覧ください。

### 【県立浜松技術専門校】

〒435-0056 静岡県浜松市東区小池町2444-1

TEL：053-462-5602

HP：http://www.hamamatsu-tech.ac.jp/



浜松テクノカレッジ



## 障害者雇用に関する相談窓口の御案内

県では、障がいのある方の就労に関する相談に対応するため、障害者就労相談員を配置しています。

新たに障害者雇用を始めようとする事業主や雇用している事業主、又は、障がいのある方やその御家族等、雇用（就労）に関する御相談があればどなたでもお気軽に御相談ください。

### 障害者就労相談窓口

相談例：①事業主からの雇用している障がいのある方についての相談や障害者雇用（求人、制度等）に関する相談

②就労中（又は、求職中）の障がいのある方や御家族・支援機関等からの相談

相談日：月曜日～金曜日、第4日曜日（祝日、8月12日～15日、年末年始は除く。）

場 所：障害者働く幸せ創出センター内（駐車場なし）  
静岡市葵区呉服町2-1-5「5風来館」4階

電 話：054-251-3553（直通）

F A X：054-251-3516

Mail：kyujin@all-shizuoka.or.jp

※直接お越しいただく場合も、事前に電話等で御連絡いただくほうが、お待たせしません。

### 【お問い合わせ先】

<静岡県事業委託事業者>

N P O法人オールしずおかベストコミュニティ

H P：https://www.all-shizuoka.or.jp/hataraku/

※電話番号等の連絡先は、上記と同一となります。

## 海外合同面接会参加企業を募集！

静岡県は、ベトナムで海外合同面接会を開催します。採用の対象は、日本語ができ、現地の大学や大学院を卒業予定（既卒含む）の高度人材（在留資格「技術・人文知識・国際業務」）です。採用から来日、さらに定着までのサポートも実施しておりますので、外国人材の採用に御関心をお持ちの企業様は、是非御参加ください。

### ○ベトナム面接会

日 時：令和5年2月25日（土）・26日（日）

会 場：ハノイ市内ホテル（予定）

### 【ポイント】

- ・在留資格「技術・人文知識・国際業務」では、エンジニア、プログラマー、設計、施工管理、経理、営業、翻訳、通訳等に従事可能
- ・求人票（職種、専門性等）に合った方を事前にスクリーニング
- ・詳細は下記リンクの県HPを御確認ください。

### 【静岡県経済産業部労働雇用政策課】

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9-6

TEL：054-221-2811

HP：https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-220/04kaigaikoudozinzaimensts.html





# 静岡労働局からのお知らせ

## 労働局長が「ベストプラクティス企業」を訪問しました(11月4日)

労働基準部監督課  
Tel.054-254-6352

静岡労働局では、11月の「過労死等防止啓発月間」の取組の1つである「過重労働解消キャンペーン」の一環として、長時間労働削減に取り組む企業（「ベストプラクティス企業」）に石丸労働局長が訪問しました。

### 社会福祉法人 美芳会 (理事長 大塚芳正)

所在地：富士市原田

社員数：160人

事業概要：特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービス施設の運営など

大塚理事長、大塚施設長から、NO残業Dayの運用強化、勤怠システムの導入とグループウェアによる毎月の勤怠状況の見える化による労働時間削減の取組み、有給休暇制度を法定+4日、計画有給制度の導入（3か月1日、6か月に連続3日間の休みの取得）、面談制度（月に1度面談する）の導入、職員満足度調査の取組などの説明がありました。美芳会では、数年前から、ITCを積極的に活用し、長時間労働の削減などに繋げています。

石丸局長からは、地域のリーディングカンパニーとして、長時間労働削減に向けた、働き方改革の波及効果に期待を示しました。



(写真左から) 松本監督課長、石丸労働局長、大塚理事長、大塚施設長

## 不妊治療と仕事との両立認定制度「くるみんプラス」新設(R4年度～)

雇用環境・均等室  
Tel.054-252-5310

不妊治療を経験した方のうち16%（男女計（女性当23%））が、不妊治療と仕事を両立できずに離職しており、企業には、**不妊治療を受けながら安心して働き続けられる職場環境の整備**が求められます。

令和4年度から、「くるみん」等の認定を受けた企業が、不妊治療と仕事との両立にも積極的に取り組み、一定の基準に達した場合に追加される認定制度「**くるみんプラス**」を新設しました。



プラチナくるみんプラスマーク⇒

認定基準は以下の通りです。

- 次の(1)及び(2)の制度を設けていること
  - 不妊治療のための休暇制度（不妊治療を含む多様な目的で利用することができる休暇制度及び利用目的を限定しない休暇制度を含み、年次有給休暇を除く）
  - 不妊治療のために利用することができる次のうちのいずれかの制度
    - 半日又は時間単位の年次有給休暇
    - 所定外労働の制限制度
    - 時差出勤制度
    - フレックスタイム制
    - 短時間勤務制度
    - テレワーク
- 不妊治療と仕事との両立の推進に関する方針を示し、講じている措置の内容とともに労働者に周知していること
- 不妊治療と仕事との両立に関する研修その他の不妊治療と仕事との両立に関する労働者の理解を促進するための取り組みを実施すること
- 不妊治療を受ける労働者からの不妊治療と仕事との両立に関する相談に応じるための担当者（両立支援担当者）を選任し、労働者に周知すること

詳細は厚生労働省HPをご確認ください。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_14408.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_14408.html)





## 「縁」

何の「縁」があっただろうか、私は約20年前に、静岡県中部青年中央会へ出向しました。青年中央会には自分よりも経験豊富な経営者としての先輩が多く、教えられることがたくさんありました。経営や仕事とは関係なく、人として成長に導いてくれた先輩もいます。同じ活動をする事により、趣味や話題が共通の仲間も増えました。仕事の縁、友人という縁、そして今の自分が育てられた縁がこの静岡県青年中央会にはあります。自己研鑽から企業の成長・発展や取引先の拡大など、その目的が何であろうと必ず必要なプロセスは交流であると信じています。講演や講義を聞くことも学びになりますが、その講演で感じたことを仲間と話し合い、語り合うことによって得るものが数倍になります。自分を成長させるヒントはどこにでも転がっています。ただの世間話などと思わず、事業や役員会に参加し、仲間と語り合う。それがこの静岡県青年中央会に所属し、活動している中で一番の贅沢ではないでしょうか。

今年度になり、やっと皆さんと顔を突き合わせることができるようになりました。時代の流れや世間の情勢に合わせてオンラインでの交流に対応していくことも私たち経営者に必要なスキルではありますが、対面開催にこだわり、交流と会話を中心とし縁を育む活動を大切にしていきたいと私は考えます。



静岡県青年中央会  
会長  
株式会社  
ベルスター・スズキ  
代表取締役

### 鈴木 雅八



今年も早いもので残り僅かとなりました。先日は、今年の新語・流行語大賞の候補30語が発表され、第104回高校野球選手権で、東北勢初優勝となった仙台育英高校（宮城県）の須江監督が述べた「青春って、すごく密なので」や、「大谷ルール」（大谷翔平選手）、史上最年少3冠王の「村神様」（村上宗隆選手）、「BIGBOSS」監督就任、球場全体が盛り上がった「きつねダンス」など野球界から6点が選ばれました。

今年は、久しぶりにプロ野球の試合を現地観戦する中で、『臨場感』、『一体感』を味わうことができ、改めて生で観る野球に感動しました。来年はぜひ県外の球場にも足を運び、推しのチームを応援しに行きたいと思います。

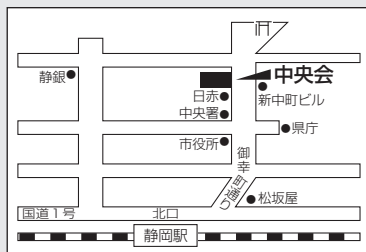
来年こそコロナ禍が終息し、これまでの日常に戻れることを祈るばかりです。

今年一年大変お世話になりました。来年もどうぞよろしくお願いいたします。

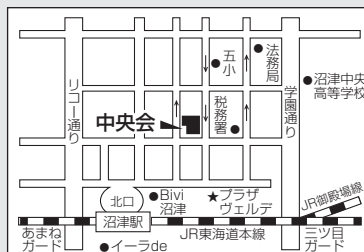
(飯田)

## 中小企業静岡12月号 (通巻829号)

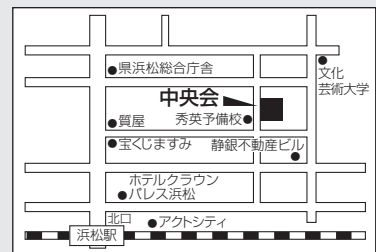
- 発行人 / 静岡県中小企業団体中央会 〒420-0853 静岡市葵区追手町44-1 TEL / 054-254-1511 FAX / 054-255-0673  
 東部事務所 〒410-0046 沼津市米山町6番5号 TEL / 055-926-8220 FAX / 055-926-8230  
 沼津商工会議所会館4階
- 西部事務所 〒430-0929 浜松市中区中央1丁目17-19 TEL / 053-453-2195 FAX / 053-453-2198
- 中央会ホームページ <https://www.siz-sba.or.jp/> ● E-mailアドレス [webmaster@siz-sba.or.jp](mailto:webmaster@siz-sba.or.jp)  
 皆様のご意見をお待ちしております。(TEL、FAX等でもお受け致します。)



静岡事務所



東部事務所



西部事務所

# 能力開発セミナーのご案内

設計・開発、加工・組立、工事・施工、設備保全など“ものづくり分野”における、「技能・技術の向上」や「新たな製品づくり」といった生産現場の課題を解決するための実習を中心とした職業訓練です。地域のニーズを踏まえあらかじめ準備されたコースのほか、企業等の個別のオーダーに応じたコースを利用できます。

## 能力開発セミナー 3つのポイント

### 1 競争力強化を目指して！

- ・新技術への対応など**現場力の強化**や確かな**技能の継承**
- ・さらなる付加価値、コスト削減で現場の**生産性の向上**
- ・新技術の開発や製造プロセスの改善で**新たな製品や品質の創造**

### 2 豊富なコースラインナップ！

- ・**直接生産型**(設計・開発、加工・組立、工事・施工、検査等)に関するコース
- ・直接生産型と**間接生産型**(生産管理、品質管理、設備保全、安全衛生等)を組合わせたコース
- ・**確実な職務遂行**を目指すレベルから**職務の多様化、高度化、効率化、品質向上**を目指すレベルまで

### 3 受講しやすい訓練日数と料金設定！

- ・訓練日数は2日～5日、受講時間は原則9:30～16:30
- ・1コースは12時間～30時間
- ・受講料は1人あたり**7,000円～34,500円**(税込)  
例)「有接点シーケンス制御の実践技術」12時間の受講料→1人10,000円(税込)



## 訓練受講までの流れ

まずは  
コースをチェック

能力開発セミナーガイドまたはポリテクセンター静岡のHPから  
訓練コースを確認してください。  
(空き状況の確認もできます)



### こんなお悩みはありませんか？

#### 現場力・技能継承

- ・技能、技術と併せて原理も学びたい
- ・中堅社員、職長への教育をしたい
- ・多能工化を促進したい
- ・技能継承の補填、補強をしたい



#### 生産性向上(コスト↓、付加価値↑)

- ・製品のコスト削減、品質向上の方法を習得したい
- ・設備メンテナンスを確実に効率良くやりたい
- ・製造プロセスの改善や最適化をしたい

#### 新製品・高品質

- ・新たな技能、技術で新分野の製品開発に挑戦したい
- ・高度な技能、技術を習得し、さらに品質を高めたい
- ・製造技術の原理を学び、製造プロセスを革新したい

### こんなコースがあります！ (令和4年度の例)

#### 機械系 コース

機械設計(製図・CAD・公差・力学・トラブル防止)  
制御システム設計(空気圧制御・油圧制御)  
機械加工(旋盤・NC旋盤・フライス盤・マシニングセンタ)  
溶接加工 精密測定 機械保全 など

#### 電気系 コース

制御システム設計(シーケンス制御・PLC制御・空気圧制御)  
電子回路設計(アナログ回路、デジタル回路、はんだ付け)  
組込みシステム(プログラミング・IoT・マイコン制御)  
電気設備設計/保全 建築計画(設備CAD・店舗照明) など

#### 居住系 コース

木質構造設計(壁量計算・構造安定性能・許容応力度)  
建築施工(壁装施工) 建物診断(木造耐震診断)  
建築設備工事(火災報知、空調機器、管加工と接合、防災設備)  
建築計画/意匠(インテリア計画、建築CAD、設備CAD) など

#### 管理系 コース

工場管理(コスト改善/低減・生産工程改善・品質改善と向上)  
教育訓練(現場監督者育成・部下育成能力・5S・管理能力向上)  
安全管理(ヒューマンエラー対策) など

受講申込はFAXで

「受講申込書※」に必要事項をご記入いただき、FAXでお申込ください。  
受付は先着順です。

※HPからダウンロード 又は セミナーガイドの巻末

訓練受講

開講日の10日前までに、受講料をお振込みいただき、訓練の受講となります。

※キャンセルは開講日の7日前まで受付



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構静岡支部

**ポリテクセンター静岡** (生産性向上人材育成支援センター)

〒422-8033 静岡県静岡市駿河区登呂3-1-35

TEL: 054-285-7184 FAX: 054-285-5192

ポリテクセンター静岡 セミナー



# どっちも、頼れる。

## カードローン マイプラン



お申込みは  
店舗で安心!  
ご融資限度額は  
500万円まで!

ライフプランについて  
相談しながらお申込み  
いただけます!

キャッシュカードと  
ローンカードが  
一体となった  
便利なカードです!

ご融資限度額

10万円～500万円  
(10万円単位)

来店予約はこちら!

スマホで  
アクセス!



お申込みはこちら!

スマホで  
アクセス!



[https://shizuoka.rokin.or.jp/kariru/card\\_loan/web\\_myplan/](https://shizuoka.rokin.or.jp/kariru/card_loan/web_myplan/)

## カードローン Webマイプラン



お申込みは  
Web完結!  
24時間365日  
お申込み可能

いつでもPC・スマホ・  
タブレットからお申込み  
いただけます!

お申込限度額

10万円～100万円  
(10万円単位)



変動金利

年 **4.275% ~ 9.275%** (保証料年0.8%または1.2%含む)

1 ご利用目的は自由

お買い物、エステ、ご祝儀、出張費、突然の医療費など、自由にご利用いただけます。

2 繰り返しご利用可能

ご利用限度額の範囲内であれば、何度でも繰り返しご利用いただけます。  
※事業資金は除きます。

3 毎月定額払い

限度額に応じた毎月(またはボーナス併用)定額払い。計画的な返済が可能です。

4 お引出手数料実質0円(※)

お近くのコンビニや銀行のATMでお引出し(お借入れ)いただけます。セブン銀行・ローソン銀行・コンビニATM(E-net)は、24時間手数料実質0円でごご利用いただけます。  
※手数料がかかった場合も即時全額キャッシュバックいたします。

### 金利割引制度

#### カードローン「マイプラン」「Webマイプラン」

- カードローン「マイプラン」「Webマイプラン」には、「給与振込」や「積立預金」等のご契約で基準金利より最大年4.6%が割引されるウレシ金利割引制度があります!!
- 金利割引幅は、毎年2月末と8月末のお取引で判定します。

※変動金利型のカードローンです。基準となる金利は年4回見直しを行います。  
※基準金利・金利割引制度等の詳細はお近くの営業店または(静岡ろうきん)ホームページでご確認いただけます。

対象のお取引		(年利) 割引幅
個人割引	給与振込指定※1	1.0%
	年金受取指定※2	1.0%
	ろうきんUCカード契約	1.0%
	インターネットバンキング契約	1.0%
	Web通帳(無通帳型普通預金)契約	1.0%
	有担保証書貸付、住宅金融支援機構利用	1.0%
	積立 一般財形またはエース預金契約	1.0%
	預金 非課税財形(年金・住宅)またはエース預金[年金型]契約	1.0%
	所属会員による割引(未組織労働者除く)	一律1.0%
	金利割引幅	最大4.6%

※1 原則として当金庫が「給与振込」と判定できる入金対象です。  
※2 原則として当金庫が「年金受取」と判定できる入金対象です。

**商品概要** ●表示の内容は2021年10月1日現在の内容です。  
【ご利用いただける方】●静岡県内にお勤めまたはお住まいの方 ※勤務先の労働組合・互助会等が(静岡ろうきん)の会員の場合は、県外からのお申込みも可能です。●お申込み時年齢が満20歳以上、満65歳未満の方で安定・継続した収入がある方 ●当金庫指定の保証機関の保証が受けられる方【ご契約期間】●1年ごとの自動更新となります(更新審査があります)。  
※満70歳に達した日以降、最初に到来する契約期限日をもって、新たなお借入れができなくなります(最終貸出期限日)。※満76歳の誕生日の前日までに完済していただきます(最終契約期限日)。【お支払い】●自由(事業資金は除きます)【ご返済方法】融資限度額に応じた毎月またはボーナス併用定額返済(返済用普通預金口座からの自動引落しとなります)【保証機関】(一社)日本労働者信用基金協会【ご注意事項】●ご融資限度額と適用金利は、ご所属の会員やお取引により異なります。●諸条件によりお客さまのご希望にそえない場合がございます。●詳しくは営業店窓口またはホームページにて商品概要説明書をご確認ください。